

## 教育課程表にはない特色ある教育実践

### 吹田高校定時制での経験

元教頭（平成5年～8年）長瀬 尚

『若い教員は持ち前の馬力を出し、年配の教員は知恵を出し、うまく噛みあっていました』これは50周年記念誌での稲田第11代校長先生のご回想です。私が在職させていただいた当時の吹定教師集団の様子を言い得て妙です。

定時制の生徒の厳しい生活背景を教職員はよく認識し、定時制教育が彼等に果たす役割にも強い思い入れがありました。一方就労構造の変化等々で生徒数の大幅減という現実があり、定時制教育の再編成が各方面で論議され、具体化されつつもありました。それが不可避であるにせよ、現場感覚からみた閉塞感是否定しきれぬものではありません。



先生方はその閉塞感を、自分たちの教育活動を広く世間に知らせるといふ、具体的な行動で打開しようとした。授業参観・給食試食などの学校公開、2～3人一組での中学校訪問、学校開放講座、希望者には常時授業風景を見せる等々。これらを通じ、個々の先生が外部の人々とじかに接し、じかに評価を受けることで自校の教育活動全体への当事者意識や自らの教育活動への自信を深め、それがまた新たなエネルギーになるという、モチベーション向上のサイクルがありました。コース制、0時間目、情報以外の一般科目でのLAN教室活用、学校外の多様な施設を活用した『ライフスポーツ』、大阪外大の外国人留学生を活用した英語の授業（定時制にはAET・NETが認められなかったため実施）等も加え、定時制、全日制を問わず当時ではまだ珍しかった取り組みが数多くあります。

学校開放講座は当時の社会教育課の事業で、パソコン教室ということで応募しました。寿栄松先生の日頃のご尽力で指導できる人材には事欠きません。問題は募集枠20校に対し、多くの全日制がパソコン教室で応募し、競合校が多かったことです。担当課にはAET・NETのように定時制を対象外にしないよう再三訴えました。結果的には定時制を含む多様な学校を府民に知ってもらい意義を重視してくれ、今でも感謝しています。

講師2名で指導という指示でしたが、常に5、6名の先生が入り、きめ細かい指導が好評でした。同時に先生方には教師という仕事の意味を別の角度から再認識する、受講者には全く知らなかった定時制というものを多少とも理解する機会になったようです。

学校教育は教員一人一人の生徒への営みの集積であり、先生方の自律的なモラルや当事者意識は不可欠です。全教員が場面に柔軟かつ適切に応じるには基本の共通理解が必要です。実効性ある協力体制・信頼関係を築くには校内外の情報を平等に知り、意見が自由に表明できる校内民主主義も重要です。このことは吹定で実証的に経験できました。

#### <参考資料>

平成12年度 大阪府立吹田高校定時制の課程 開放講座ご案内 ～パソコン入門から応用まで～  
実施の趣旨

コンピュータを利用したくても、経験がなければうまく使いこなせない場合が多いようです。また、興味があっても勉強をしようと思っても相談する人がいなくて困っている方も多いと思われます。その様な方のための講座を開きたいと思います。

#### 実施内容

今年の講座は、2回に分け、1回目はワープロ講座、2回目は表計算講座を開きます。平成11年より導入された、WINDOWS-NTマシンを使って練習しましょう。

#### (1) ワープロコース

ワープロソフト「ワード98」を用いて、ワープロの機能を習熟し、基本機能から応用機能までを学習し、日商ワープロ検定4級、3級程度取得を目指します。

#### (2) 表計算コース

表計算ソフト「エクセル97」を用いて、表計算の基本、応用を習熟する。合わせて表計算の色々な利用法を研究します。

#### 実施期間

#### (1) ワープロ講座

5月13日から6月10日までの毎週土曜日（5回）午後1時30分～4時30分までの3時間

#### (2) 表計算講座

6月17日から7月15日までの毎週土曜日（5回）午後1時30分～4時30分までの3時間

#### 募集人数

定員を超えた応募があった場合は、抽選で受講者を決定します。

#### 申し込み方法

往復はがきによる申し込みに限ります。

ご希望のコース（ワープロ・表計算）氏名、〒、住所、電話番号、年齢、性別をご記入の上（返信はがきにはご自宅の住所も忘れずにお書き下さい）4月28日（金）必着でお願いします。

同じコースを同一人が多数申し込まれても一申し込みとさせていただきます。

両方のコースを申し込まれる場合は、別の往復はがきでお願いします。

#### 受講費用

受講料2,250円 教材費750円 合計3,000円

第1回講座に集めさせていただきます。（ワープロ・表計算別、5回分一括の費用です）

#### 応募資格

大学・高校・専門学校・義務教育などの教育機関に在籍している方は除きます。

